

学級活動(自立活動)指導案

令和3年9月
○小学校
指導者

1 議題「9月のおたん生会をしよう」ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 議題について

(1) 児童の実態

○小学校の特別支援学級(○学級)は○クラスあり、合計○名の児童が在籍している。本学級は○組で、以下のような特性のある児童がともに学習している。

本学級の児童は、普段は交流学級の学級会に参加している。○組では、児童は交代で朝の会の司会や1分間スピーチを行って、人前で話したり、友達の話最後まで聞いたりする練習をしている。声が小さくて聞き取れなかったり、気分が乗らなくてスピーチを拒否したりする児童もいる。

(2) 議題選定の理由

「○お誕生会」は、クラス合同で行うイベントである。月毎に、担当学級が持ち回りで会を運営する。○組は、9月のお誕生会を開くのが初回になる。○お誕生会のプログラム1番「お誕生者の紹介とクイズ」は毎回行うことが決められており、その後の活動は各担当学級に委ねられている。コロナ禍以前は調理実習が盛り込まれていたが、ここ数年は体育館でゲームをするのが主流になっている。どの児童も○お誕生会に参加することは大好きであり、7月のお誕生会終了後から、「次はあなたたちの番です」と予告も続けてきた。本学級の児童たちは、9月のお誕生会を自分たちの手で成功させることに意欲を見せている。

(3) 指導にあたって

9月のお誕生者は7人と多く、プログラム1番が終わるまでかなりの時間を要すると予想される。そのため、プログラムの途中で休憩もとり、ゲームの時間は実質6分程度と考えた。勝ち負けにこだわる特性をもつ児童も複数おり、児童の意見を尊重しつつ学級会を安全に運営するためには、担任が司会を務めることが必要である。また、発言するタイミングを知らせたり、不明瞭で言葉足らずの意見を読み解いたりすることも、担任が適任であると考えた。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導助言	評価規準
準備	話し合いの準備・確認	朝のチャレンジタイム	先に意見を聞き、考えを話し合いで生かせるよう助言する。	「9月のお誕生会」の準備について、意欲的に取り組もうとしている。
話し合い	「9月のお誕生会をしよう」(全員)	9月10日(月) 1校時(本時)	本時の活動に記載	
実践	準備(全員)	9月11日(火)～ 10月14日(木)	お誕生会の進行表を用意し、活動に意欲的に取り組めるよう、必要に応じて助言する。	○友達と協力して、仲良く活動に取り組もうとしている。 (思考・判断・表現)
	実践(全員)	10月15日(金) 1校時	楽しく意欲的に活動出来ているか見守り、必要に応じて助言したり、友達と協力できた時には賞賛したりする。	
振り返り	振り返り(全員)	10月15日(金) 2校時前半	良かった点は十分賞賛し、反省点は次の活動に生かせるよう助言し、意欲付けをする。	実践を振り返り、自分や友達の頑張りを認めるとともに、次の活動に生かそうとしている(主体的態度)

4 本時の活動

(1) ねらい

友達の思いや意見を大切にし、楽しいお誕生会にするための活動を考えることができる。

(2) 活動計画

(学級で使用している計画書 [児童手書きのもの] を添付)

※削除

(3) 指導助言

- ・議題に沿った話し合いが進められるよう、必要に応じて助言する。
- ・自分と異なる意見を受け入れながら発言できた時や、折り合いを付けたり、新しい意見を提案したりすることができた時には賞賛する。

(4) 評価規準

- ・友達の意見を黙って、最後まで聞くことができる。
- ・自分の意見を言ったり、どの意見が自分に近いのか選択したりすることができる。
(思考・判断・表現)